

平生町 般若寺の草刈りに山口型放牧を活用

田布施農林事務所畜産部

平成 21 年 7 月 8 日

般若寺では、平成 14 年、16 年に山口型放牧によって、敷地内の景観保全に取り組まれました。その後、しばらく放牧が途絶えていましたが、敷地内の野草や竹が繁茂してきたのを機に、再び放牧に取り組まれました。

この放牧地は、駐車場に隣接する斜面で、傾斜がきついため草刈り作業が難しい場所ですが、牛はゆっくりですが確実に野草を食べていき、1～2 ヶ月程度で食べてしまいます。

山口型放牧は、耕作放棄地での放牧を想定していますが、畜産農家にとっては、放牧によって管理労力の軽減や、飼料費の削減につながることから、取り組まれました。



柳井湾を見渡す放牧地



放牧地の状況